

継続的な課題として
考えられる内容

文章の構成

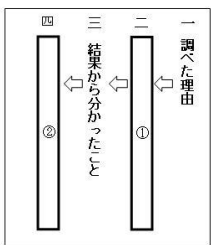
問題の趣旨

事柄のまとまりを意識して、文章の構成を考えることができる。

学習指導要領における領域・内容

[第3学年及び第4学年] B 書くこと イ
文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

【正答】①イ ②ア

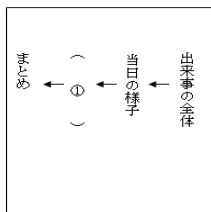


①

②

通過率 50.7%

【正答】①ウ



①

②

通過率 88.3%

【平成二十六年 度 題材 報告文】

四 次の文章は、前田さんが「サンフレッチェ広島」の順位と親数の関係について調べたことを報告するためにまとめた文章です。あとの問いに答えましょう。

サンフレッチェ広島の順位と親数の関係

広島小学校 五年 前田とも子

一 調べた理由

わたしは、プロサッカーチームのサンフレッチェ広島の順位と親数の関係について調べました。サンフレッチェ広島の順位が決まる試合を見に行った時、とてもたくさん観客がおいしかったです。その様子を見て、「サンフレッチェ広島が優勝すること、観客が多いことは関係があるのだろうか」と思い、調べてみることにしました。

二

サンフレッチェ広島の順位と親数について調べたことを資料にまとめました。

【資料】

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

三 結果から分かったこと

資料にまとめてみて分かったことは次の二点です。

- 順位が一位になった年は、そうでない年にくらべ、観客数が多い。
- 順位が七位になった年は、そうでない年にくらべ、観客数が少ない。

四

これらのことから、サンフレッチェ広島の順位によって観客の数は変わるといえると思います。観客の中には、順位によって試合を見に行こうかどうかを決めている人もいるのではないのでしょうか。

わたしは、たくさんの方が試合を見に行こうと思えば、選手力が出て試合に勝つと思うので、順位を上げるためにみんなが試合を見に行くと、もっと面白くなると思います。

【平成二十七年 度 題材 新聞の記事】

四 新聞版の山本さんたちは、学校新聞を作って、学校の友達に読んでもらおうと決まっていた。山本さんは、「マラン大会」の記事の担当になりました。次は、山本さんの「取材メモ」と「マラン大会の記事」です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【取材メモ】

○日時 十月十日(金) 午前十時

○場所 運動場

○参加者 一年生から六年生の全員

○観客 五年生、五十三人

○きり 五年生は千メートル

○当日の様子

・みんないつも以上に、生け足で走っていた。ほとんどの人がこれまで一番よい記録を出していた。
・家の人もたくさんおいでしていた。

【マラン大会の記事】

もみじ新聞

十月十日(金) 午前十時から運動場でマラン大会が行われました。

五年生五十二人は、千メートルを走りました。

この日は、

まだ、家の人がたくさんおいでして来てくれました。

今年、マラン大会は「一人一人が最後まで全力で走り、大成功でした。」

結果は、男子一位が森山さん、女子一位が川本さんでした。男子一位になった森山さんは、「練習の時より十秒速くゴールできましたのうれしい。」と語っていました。また、女子一位になった川本さんは、「たまたまの人があつてくれてくれたので、最後まで走る事ができました。」とうれしそうに話していました。

今年、マラン大会は「一人一人が最後まで全力で走り、大成功でした。」

内容の系統

第1・2学年 書くこと イ
自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

第3・4学年 書くこと イ
文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。

第5・6学年 書くこと イ
自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

通過率の推移

| 年度 | H26 | H27 | H28 |
|-----------|------|-------|------|
| 通過率(%) | 50.7 | 88.3 | 75.4 |
| 出題した文章の種類 | 報告文 | 新聞の記事 | 物語 |

「文章の構成」に関しては、これまで様々な種類の文章を題材にして文章の構成を捉える問題を出題してきました。平成26年度は、報告文を題材としたところ、通過率50.7%と課題が見られる結果となりました。平成27年度は、新聞の記事を題材としたところ、通過率88.3%とかなり定着しているという結果となり、平成28年度は、物語を題材としたところ、通過率75.4%とおおむね定着しているという結果となりました。

これらの結果から、様々な文章の種類の中でも、とりわけ報告文の構成に関して、理解が不十分であると言えます。要因として、新聞の記事や物語に比べ、報告文に触れる機会や実際に書く機会が少ないことが考えられます。

平成 29 年度は、報告文の構成に関する授業改善の状況を把握するため、平成 26 年度と同様の問題を出題しました。



平成 29 年度の問題

【平成二十九年度 題材 報告文】

四 次の文章は、保健委員の山下さんが、けがをした場所とけがの種類について調べたことを、全校のみんなに報告するためにまとめた文章です。あとの問題に答えましょう。

校内でのけがを少なくするために

一 わたしは、保健委員会に入っています。

二 当番の仕事をしていると、たくさんの人がけがをしては保健室に来ることが分かったので、わたしは、けがをする人を少なくするために、校内のどこで、どんなけがをする人が多いのかを調べてみることにしました。

三 調べた方法

最近、運動で、保健室に来た人に、校内のどこで、どんなけがをしたのかアンケートをして調べました。

三 調べた結果

a けがをした場所とけがの種類について調べたことを表すものとめ。

| 場所\種類 | すりきり | 割き | 転び | 指が | 合計 |
|-------|------|----|----|----|----|
| 運動場 | 6 | 1 | 0 | 3 | 10 |
| 体育館 | 3 | 0 | 1 | 3 | 7 |
| 廊下 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 |
| ろうか | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 |
| 教室 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 9 | 2 | 6 | 10 | 27 |

四 結果から分かったこと

表にまとめてみて分かったことは次の二点です。

○ 運動場や体育館など、体を動かす場所では、すりきりや打撲が多いことが分かりました。

○ ろうかや廊下など、い動するときに使う場所では、ねんざや打撲が多いことが分かりました。

五 これらのことから、遊び時間や体育の時間では、遊びや運動にむかひになつて、転んだりぶつかったりする人が多いのではないかと考えます。また、廊下やろうかでは、い動するときに前を見ていなかったり、あわてたりしているのではないかと考えます。みんなんで、体を動かすときに気をつけることや、安全な動きの仕方を考え、ルールを決めるなど、けがをせよような取り組みを進めていくことが大切ではないでしょうか。

【正答】 ①エ ②イ

通過率 54.5%

解答類型を基に児童の誤答を分析しましょう。個々の児童のつまずきを把握し、その個に応じた具体的な手立てを講じていきましょう。



誤答と分析(平成 26 年度と平成 29 年度)

| 誤答と無解答 | | H26 (%) | 誤答と無解答 | | H29 (%) | 自校 |
|--------|---------------------------|---------|--------|---------------------------|---------|----|
| × | ①にイと解答していないが、②にアと解答しているもの | 9.6 | × | ①にエと解答していないが、②にイと解答しているもの | 7.1 | |
| × | ①にイと解答しているが、②にアと解答していないもの | 7.3 | × | ①にエと解答しているが、②にイと解答していないもの | 13.1 | |
| × | 上記以外の解答 | 32.0 | × | 上記以外の解答 | 24.1 | |
| — | 無解答 | 0.5 | — | 無解答 | 1.2 | |

【分析】

平成 26 年度と平成 29 年度を比較してみると、どちらも「上記以外の解答」の児童の割合が高く、アからエの選択肢にある、文章の構成を表す言葉についての理解が不十分であると考えられます。また、報告文に書かれている内容と、文章の構成を表す言葉に対応させながら読むことにも課題があると考えられます。

継続的な課題

○ 報告文の構成についての理解が不十分である。また、本文に書かれている内容と選択肢にある文章の構成を表す言葉に対応させながら読むことにも課題がある。

【今後の指導に向けて】

まず、報告文を書かせる前に、報告文とは、活動したことや調査したり研究したりした結果を報告する文章のことであり、それらを特定の相手に知らせることを目的とした文章であるということを、しっかりと押さえておきましょう。

その際、報告文の構成の特徴を理解させるために、報告文の様々な例を提示し、比較させる中で、報告文の構成の特徴に気付かせていくことが大切です。児童の気づきをまとめながら、報告文は、例えば、「調べた目的」、「調べた方法」、「調査の結果」、「考えたこと」等で構成されていることを理解させましょう。その際、指導者自身が報告文のモデルを自分で書いてみたり、そのモデルを児童に示してみたりすることも有効です。

その他にも、報告文を書く活動では、次のことを大切に指導しましょう。

| | |
|-----------|--|
| 目的や相手の明確化 | 何のために、誰に、伝えるのか等、報告する目的や相手を明確にさせる。 |
| 資料の活用 | 報告する目的に応じて、どのような調べ方があるのか、どのような表し方があるのか考えさせ、文章だけでなく図表やグラフなどの資料を、意図的、計画的に活用させ、数値や事例などを引用できるようにさせる。 |
| 記述・推敲 | 「調べた目的」、「調べた方法」、「調べた結果」、「結果から分かったこと」、「考えたこと」をカードに書かせ、構成表などに整理させる。書かれている内容と小見出しが対応しているかを確認させる。 |

なお、報告文は、国語科だけでなく、社会科や理科、総合的な学習の時間等、様々な場面で書く機会があります。国語科で学習したことと関連付けて指導し、より一層の定着を図りましょう。

授業改善のポイント

- 報告文とはどのような文章であることをしっかりと押さえましょう。
- 様々な報告文に触れさせることを通じて、報告文の構成を理解させましょう。
- 他教科等で調査や研究したことを報告文に書く際に、国語科で学習した内容を想起させましょう。

継続的な課題として
考えられる内容

情報の取り出し・情報を関係付けた記述

問題の趣旨

目的や必要に応じて情報を取り出し、それらを関係付けて書くことができるかどうかをみる。

学習指導要領における領域・内容

[第3学年及び第4学年] B 書くこと
書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。
[第3学年及び第4学年] C 読むこと
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

【平成27年度】 通過率 52.3%

【資料1】「広島おこのみどん」

メニュー「広島おこのみどん」

(主な材料)

- ごはん
- ぶた肉
- もやし
- キャベツ
- ねぎ
- たまご
- おこのみソース
- 青のり

①

【資料2】「ひろしまじゃげえ！」

メニュー「ひろしまじゃげえ！」

(主な材料)

- ねぎ
- ちりめんじゃこ
- とうもろこし
- 天ぷら粉
- たまご
- 油

②

【資料3】「広島町の特産品ベスト3」

| 順位 | 食材 |
|----|---------|
| 1 | ねぎ |
| 2 | ちりめんじゃこ |
| 3 | こまつな |

③

【資料4】「ひろしま給食」を食べた人の感想

「ひろしまじゃげえ！ねぎちりめんじゃこ」は、ねぎととうもろこしをあまみがつてもおいしいです。

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

②①

【資料5】「ひろしま給食」を食べた人の感想

「ひろしまじゃげえ！ねぎちりめんじゃこ」は、ねぎととうもろこしをあまみがつてもおいしいです。

②①

【資料6】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

②①

【資料7】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

②①

【資料1】給食を作っておられる先生の話

「ひろしま給食100万食プロジェクト」では、広島ならではのメニューを開発し、広島県の学校給食でそのメニューを出しています。

みなさん、今回のメニューはどうでしたか。この「ひろしま給食」には、大切にしていることがあります。それは栄養バランスが整っていて、ひろしまならではの食材を、子どもたちが食べたくたつと、おうちでも簡単に作れることです。

みなさん、食が終わったらぜひ感想を聞かせてください。

【資料2】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【資料3】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【資料4】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【資料5】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【資料6】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【資料7】「広島おこのみどん」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合っていて、とてもおいしいです。

【平成28年度】 通過率 29.9%

【資料1】「なぜ、動物園では世界中から来た動物が元気にくらせるの？」

「青い方」に書いてみよう！

Q: なぜ、動物園では世界中から来た動物が元気にくらせるの？

A: それは、動物が動物園でいきいきとくらせるように、動物が生活していた場所が再現されているから。例えば「オウゴン」や「オウゴン」などについて調べ、動物園でくらせるようにしている動物は、オウゴン・カンニホンザルなどが多い。

①

【資料2】「世界中から集まる動物園の動物たち」

動物園の動物は、本当に世界のいろいろな場所から集まっているわ！

クマ科
水たたきのような場所から集まっているわ。

ニホンザル
オナガザル
日本の夜や川のある山から集まっているわ。

オウゴン・カンニホンザル
上野動物園のジャングルを再現しているわ。

フクロウ科
フクロウ科
中東などの乾燥した地域から集まっているわ。

②

【資料3】「動物園のしぐさのくふう」

動物園のしぐさのくふうにもいろいろあるわ！

「動物園のしぐさのくふう」

「動物園のしぐさのくふう」

③

【資料4】「動物園のしぐさのくふう」

動物園のしぐさのくふうにもいろいろあるわ！

「動物園のしぐさのくふう」

「動物園のしぐさのくふう」

③

【資料5】「動物園のしぐさのくふう」

動物園のしぐさのくふうにもいろいろあるわ！

「動物園のしぐさのくふう」

「動物園のしぐさのくふう」

③

【資料6】「動物園のしぐさのくふう」

動物園のしぐさのくふうにもいろいろあるわ！

「動物園のしぐさのくふう」

「動物園のしぐさのくふう」

③

【資料7】「動物園のしぐさのくふう」

動物園のしぐさのくふうにもいろいろあるわ！

「動物園のしぐさのくふう」

「動物園のしぐさのくふう」

③

内容の系統

第1・2学年 書くこと
語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

第3・4学年 書くこと
書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

第5・6学年 書くこと
事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

第1・2学年 読むこと
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 読むこと
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 読むこと
目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

通過率の推移

国語のタイプIIでは、平成27年度より、目的に応じて複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述する問題を出題しています。

平成27年度は通過率52.3%でしたが、平成28年度は通過率29.9%となりました。これは、平成27年度は、取り出す情報に関わるキーワードが小見出しに示されていたため、情報が取り出しやすかったのに対し、平成28年度は、取り出す情報が情報量の多い文章中に配置されており、小見出しだけを頼りにして情報を取

| 年度 | H27 | H28 |
|--------|------|------|
| 通過率(%) | 52.3 | 29.9 |

り出すことができなかつたためだと考えられます。また、問題文中の例文を参考に、取り出した情報同士を関係付けて記述ができていないことも原因の一つとして考えられます。

そこで、平成 28 年度の学力調査報告書では、これらのことを課題として取り上げ、授業改善のポイントを示しました。平成 29 年度は、課題に対する授業改善の状況を把握するため、平成 28 年度と同様に、取り出す情報が情報量の多い文章中に配置されている問題を出題しました。



解答類型を基に児童の誤答を分析しましょう。個々の児童のつまずきを把握し、その個に応じた具体的な手立てを講じていきましょう。

平成 29 年度の問題及び解答類型と分析

③ 条件③「家でもできる練習があるよ！」からの情報の取り出し

② 条件②「鉄ぼう名人 池田さんのおすすめ練習法」からの情報の取り出し

① 条件①「つまずきチェック」からの情報の取り出し

① ぼくは、足をふり上げて回るところまではできるのですが、体を起き上がらせることができません。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

① 正答例
うでの使い方が悪いと、起き上がれません。うでのぼすようにして鉄棒をおしながら上半身を起こしましょう。

② おすすめの練習法は、鉄ぼうにおなかをかけ、ぶらさがったじょうたいから体を起こすことです。家ででもできる練習には、うつぶせになって、足をもつてもらい、手の力だけで前へ進んでいく手おし車の練習があります。

| 解答類型 | H29 (%) | 自校 |
|---|---------|----|
| ○ 条件①②③を満たしている。(内容の順序が違っても、正しい文脈で書かれていれば正答とする。) | 32.8 | |
| × 条件①②を満たしているが、条件③を満たしていない。 | 11.2 | |
| × 条件①③を満たしているが、条件②を満たしていない。 | 1.0 | |
| × 条件②③を満たしているが、条件①を満たしていない。 | 1.6 | |
| × 条件①を満たしているが、条件②③を満たしていない。 | 6.4 | |
| × 条件②を満たしているが、条件①③を満たしていない。 | 1.4 | |
| × 条件③を満たしているが、条件①②を満たしていない。 | 1.0 | |
| × 上記以外の解答 | 27.2 | |
| — 無解答 | 17.5 | |

【分析】

解答類型を見ると、正答の条件①、②は満たしているものの、条件③を満たしていないものが 11.2% という結果であることから、情報量の多い文章中に配置されていた条件③の情報を取り出し、関係付けて記述することに課題があることが分かります。また、「上記以外の解答」が 27.2% と多くなっていますが、これは、条件①、②、③の全ての情報を取り出し、それらを関係付けて記述ができなかつたと考えられます。

継続的な課題

○ 情報量の多い文章の中から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述することに課題がある。

【今後の指導に向けて】

情報量の多い文章の中から、必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述させるためには、次のような指導が必要になります。

- 説明的な文章を読ませるときには、読む目的に応じて中心となる語や文に注目して要点をまとめたリ、小見出しを付けたりして内容を整理させる。
- 複数の資料の中から必要な情報を取り出させるときには、文章や図表、グラフなどがそれぞれ何の情報を表しているのかを読み取らせる。
- 取り出した情報を関係付けて記述させるためには、資料からの引用の仕方や文章構成、文と文とのつなぎ方等について、基本的な事項を指導する。
- 他教科等の学習と関連させたり、読む目的に応じて、本や文章をはじめ新聞や雑誌、インターネットやパンフレット、リーフレットなどの資料を意図的に活用したりする言語活動を設定する。

授業改善のポイント

- 説明的な文章から、目的に応じて、中心となる語や文を抜き出し、それらを使って要点をまとめる等、文章から必要な情報を取り出す学習をさせましょう。
- 複数の資料からの情報の引用の仕方や情報を関係付けて自分の考え等を記述する際の、文章構成や文と文とのつなぎ方等について、基本的な事項を指導しましょう。
- 他教科等と関連させたり、学校図書館等を活用したりする言語活動を設定しましょう。

ヒントがいっぱい！これできみもさか上がり名人！

さか上りの手順

1 地面をける

2 足をふり上げる

3 ももを鉄ぼうにのせる

4 起き上がり

5 着地する

さか上りの絵

つまずきチェック

ふり上げた足が落ちてしまう！

ここがポイント
ふり上げた足が鉄ぼうからはなれていると、足がうまく上がらない。鉄ぼうの上をけるつもりで、足をふり上げよう。

足をふり上げた胸に体がそってしまふ！

ここがポイント
体がそってしまうと、うでのひたさず、鉄ぼうからこしがはなれてしまふ。あごを引いておへそを露出しよう。

起き上がれない！

ここがポイント
うでの使い方が悪いと、起き上がれない。うでのぼすようにして鉄ぼうをおしながら上半身を起こそう。

鉄ぼう名人 池田さんのおすすめ練習法

足をふり上げる練習
ふり上げたひざで自分のおでこをけるようにして、足をふり上げる。

あごを引く練習
あごにハンカチをはさんで、鉄ぼうをもち、おへそを鉄ぼうにつける。

上半身を起こす練習
鉄ぼうにおなかをかけ、ふらさがったじょうたいから体を起こす。

家でもできる練習があるよ！

さか上がりができるようになるための練習には、家でもできるものがたくさんあります。たとえば、足をふり上げるためには、足で地面をけり上げる力も必要ですが、これには、片足で立ち、体の前でのびた足を高くけり上げる練習がおすすめです。おへそを鉄ぼうに近づけることができるようになるには、ふとんの上で、ダンゴ虫のように体を丸め、こしを上げる練習がおすすめです。上半身を起こすためには、うでの力も必要ですが、これには、うつぶせになって、足をもつてもらい、手の力だけで前へ進んでいく手おし車の練習がおすすめです。

【平成二十九年度】